

こども・若者ワークショップの実施結果について（報告）

1 実施目的

こども基本法においては、「こども施策を策定・実施・評価するにあたり、施策の対象となるこどもや子育て当事者等の意見を反映させるために必要な措置を講ずる」と定められている。「(仮称)久留米市こども計画」に、こども・若者の意見を反映させるため、ワークショップを実施する。

2 実施内容

(1) 開催概要

開催日時	令和6年9月8日(日) 10:00～12:00
開催場所	久留米シティプラザ 2階 展示室
参加者	市内に住むまたは通勤・通学している小学4年生～39歳
	①小学生 7名(4年生:4名、6年生:3名)
	②中学生 4名(1年生:1名、2年生:2名、3年生:1名)
	③若者・子育て当事者 5名
	計16名

(2) 参加者決定までの流れ

7月上旬～	募集広報(市公式ホームページ、LINE、各学校から安全安心メール、関係機関・団体へ周知依頼等)
7月16日～8月16日	募集期間
8月上旬～	市公式ホームページにて、ワークショップの目的・募集などについて動画配信
8月26日	参加者決定

(3) 当日の流れ

- ①「久留米市の現状」について説明
- ②「ワークショップのルール」について説明
- ③ワークショップの実施

参加者 3～5 人のグループを作り、グループごとにファシリテーターを置く。グループごとに複数のテーマについて意見交換する。

(4) 工夫した点

- ・参加申込しやすいよう、グループ申込も可能とした。
- ・事前にワークショップの目的などを動画配信。
- ・意見を出しやすいよう、テーマを複数準備し、参加者が決定。
- ・安心・リラックスして意見を伝えられるよう、お菓子、ジュースや本などを準備。



話し合いの様子1



話し合いの様子2



全員で記念撮影

3 ワークショップで出された意見の概要

テーマ① 「住みたいまち」ってどんなまち？（小学生）

遊ぶ場所
子どもが楽しく遊べる 学校でも家でも外でも遊べない 公園がいっぱい 楽しく遊べる場所 遊ぶ手段をふやしてほしい
産業
地産地消 農業がさかん にぎやかな商店街 ショッピング、フードコートがある
交通
路面電車 移動が楽 電車・バスがすぐ乗れる
経済的支援
国のお金で好きなものが買える 年金を色々な世代(子ども)に 全部半額 消費税5%
その他
きれいなまち 平和なまち みんなが笑顔 暑すぎたり寒すぎたりしない 屋根付きの長いベンチがある

テーマ② ホットとする「居場所」って どんなところ？

(小学生、中学生、若者・子育て当事者)

施設・場所
静かな場所 にぎやかなところ すずしいところ あったかいところ 久留米にはない 子どもを預かってくれる 駐車場がある 家事をしなくていい
ルール・使い方
自分の気持ちがはっきり言える みんなが笑っている クラス以外のつながりを大切に 人付き合いがない 「何かをしないとイケない」ということがない
要望
勉強できる施設を学校や地域に(自由に日常的に使える) 学校に居場所を 年齢別の児童館(スタッフとも話したい) 中学生でも使えるコミュニティセンター 話す機会を持てる場所

テーマ③ 人口が減ったり、こどもが減っていることをどう思う？（小学生）

支援・対策
お金を出す（子ども一人あたり、育休中の給付額の増額） 子育ての仕方を学ぶ本の配布

テーマ④ まわりの大人は自分の意見やきもちを聞いてくれますか？（小学生）

現状
親は聞いてくれる、友人の方が日ごろを知ってくれている 学校の先生には話しにくい 質問で攻めたとされると答えにくい（怒っているように感じる）
取組や意見
一緒に遊ぶと話しやすい 発表をいっぱいする子だけでなく、しない子の意見を聞いてほしい きめつけないでほしい 子どもを入れた会議をしたら？

テーマ⑤ もし市長になったら何をしたい？（小学生）

教育
大人も小・中学校など学び直せるようにする 学校を豪華に・きれいにしてほしい 学食選べる 公立中にも自販機を 職場体験を小学生も
交通
自転車用・歩く人用の道を分ける 車道にガードレールをつける 無料バス（通学や移動）
福祉
相談できる場所（小学生：学校の中、大人：職場） 意見を言える場所を作ってたくさん聞く
休暇
有給休暇を増やしてほしい（子どもと色々できる） 大人も休める（好きなことできる）
経済的支援
国のお金で自分の好きなものを買える 土地を安くする 子育て支援で一人40万円 赤ちゃん用品安く
その他
決まったことを毎日市民に放送 イベントをたくさんして参加しやすく

テーマ⑥ 「学校を作ってください」どんな学校にしますか？（小学生、中学生）

授業・学校行事
修学旅行を全学年に 体育の項目（ボール競技）を増やす
校則・ルール
ダメ・禁止が多い 外でのびのび遊びたい 荷物を学校に置けるように 私服を認めて 自主性を大切に 校則・ルールを自分で決める
学校施設
小動物（うさぎ、リス）を飼いたい 個室がほしい 体育館・理科室・トイレに冷房を 図書館を大きく 相談室を増やす 1クラス10人に
その他
一人一台相談できるロボット 意見を言ったり話し合う機会がほしい 意見を聞いておきながら、全く反映されない 給食の無償化

テーマ⑦ 「私には良いところがある」そう思えるには？（小学生、若者・子育て当事者）

思えない理由・原因
寛容でない社会では「いいところがある」と思えない 人のために時間を使えない
思うための取組
自分達でできることを増やしてほしい 友達の良いところを言い合う 褒められると素直に受け止める（自己肯定感）

テーマ⑧ 家の中でおこる問題や心配ごと だれに話したらいいんだろう？（小学生）

現状
友達に話す 学校の中の個別相談（全員対象）を利用 相談する手段・行先がない 相談してもいいと言われても相談できない
要望
親以外の相談相手がほしい

テーマ⑨ お金の心配はどういうとき？いま？未来？心配な時どうしている？

(若者・子育て当事者)

心配なとき、原因
どれくらいあれば安心なのか 常に不安 医療費がかかる 市税が高い 育休と仕事のバランスで心配 市 HP が見にくい 育休の情報がない
対応・取組
市からの情報発信 (SNS の利用)

テーマ⑩ こうしたらいいかもね～次回に向けて～(小学生)

日時
午後開催 いつ来てもよい
場所
オンライン参加が可能 駐車場が無料の会場
その他
学校から親にアナウンス